

2023 年度

東京外国語大学
大学院総合国際学研究科博士前期課程

学 生 募 集 要 項

《冬季募集・一般選抜》
《冬季募集・社会人特別入試》

世界言語社会専攻

言語文化コース(2023 年 4 月入学)

国際社会コース(2023 年 4 月入学)

Peace and Conflict Studies コース(2023 年 10 月入学)

国 際 日 本 専 攻

国際日本コース(2023 年 4 月入学)

東京外国語大学

目次

1. アドミッション・ポリシー(大学院総合国際学研究科博士前期課程)	1
2. 大学院総合国際学研究科博士前期課程【冬季募集】募集人員	2
3. 出願資格【冬季募集】	3
4. 出願手続	5
(1) 出願期間	5
(2) 出願時の注意事項	5
(3) 出願書類等	6
(4) 日本国外から郵送し出願した者の受験票の取扱いについて	9
5. 外国人留学生の受験者について	9
6. 国費外国人留学生の検定料・入学料について	10
7. 社会人の授業及び研究指導について	10
8. 障害等のある志願者の事前相談	10
9. 個人情報の利用について	10
10. 入学者選抜方法	11
(1) 出願期間	11
(2) 選抜期日	11
(3) 合格者発表	11
(4) 選抜方法	11
(4-1) 筆答試験	12
(4-2) 口述試験(国際日本専攻では「第2次選考(口述試験)」)	12
11. 入学手続等	12
12. 注意事項	13
冬季募集(Peace and Conflict Studies コース)	14

- 添付書類 (1)「志願票」「あて名票」「受験票・写真票」作成上の注意
(2)入学志願票
(3)あて名票
(4)受験票・写真票
(5)出願資格認定申請書・審査調書(3.出願資格(8)該当者のみ)
(6)博士前期課程社会人特例申請書
(7)コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法

【問い合わせ先】

東京外国語大学学務部入試課入学試験係

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

TEL: 042-330-5179(直通)

《窓口受付・電話対応時間》

月曜日～金曜日 9:00～12:00, 13:00～17:00

(土日祝日及び夏季・冬季休業期間を除く)

※COVID-19 感染拡大の影響で窓口受付時間等が異なる場合があります。

※電話による問い合わせは、原則として出願者本人が行ってください。

1. アドミッション・ポリシー(大学院総合国際学研究所博士前期課程)

本研究科に入学し教育を受けるには、研究を遂行するために十分な語学力を持ち、世界諸地域の言語・文化・社会の仕組みを解明する諸学問分野や、国際的な諸問題を超域的な視点から扱う諸学問について、あらかじめ十分な基礎知識を修得していることが望めます。また、グローバル化する世界の諸課題に対応するために、学際的・分野横断的な研究をも行いうる柔軟な思考力と強い問題意識を備えていることが期待されます。

本研究科が求める上記のような学生を、次の試験により選抜します。

- ・特別選抜（推薦入試）：その年度に学部を卒業する学生を対象に、研究計画書、推薦状、及び面接試験により、研究遂行能力、及び適性や意欲を判定します。（4月入学）
- ・秋季募集入試：筆答試験により専門分野における研究に必要な基礎的知識と論述能力を評価し、面接試験及び研究計画書により研究遂行能力、及び適性や意欲を見ることで、総合的に判定します。（4月入学）
- ・冬季募集入試：世界言語社会専攻は、筆答試験により語学力を、面接試験及び研究計画書により研究遂行能力、及び適性や意欲を判定します。国際日本専攻国際日本コースは、面接試験及び研究計画書により研究遂行能力、及び適性や意欲を判定します。いずれの場合も、提出された卒業論文（またはそれに替わる論文）を含めて判定します。（4月入学）
- ・世界言語社会専攻 Peace and Conflict Studies コース：提出された英語力検定試験のスコア、研究計画書、推薦状、及び面接試験により、研究遂行能力、及び適性や意欲を判定します。（10月入学）
- ・国際日本専攻日本語教育リカレントコース：提出された日本語教育歴、研究計画書、推薦状、及び面接試験により、研究遂行能力、及び適性や意欲を判定します。（10月入学）

以上の試験のすべては、留学生も対象に含めて実施します。社会人を対象とする社会人特別入試については、世界言語社会専攻の秋季募集では一般選抜の筆答試験の一部科目を免除して、冬季募集では出願書類の一部を軽減して実施します。

■専攻・コース紹介

それぞれの専攻・コースは、次のような人材の養成を目指し、必要な専門科目を開講します。

世界言語社会専攻

世界言語社会専攻では、世界諸地域の言語・文化・社会や国際社会を、複合的・総合的に捉える視点から研究し、地球社会化時代にふさわしい多言語グローバル人材を養成します。

(1)言語文化コース

世界の諸地域の言語・文化に関する専門的教育研究を推進し、高度な言語知識と地域に関する総合的な視点を備えた人材を養成します。

開講される専門科目群：英語・英語教育学研究、ヨーロッパ・アメリカ言語研究、アジア・アフリカ言語研究、言語学研究、音声学研究、言語情報学研究、認知科学研究、日英通訳翻訳実践研究、ヨーロッパ・アメリカ文学・文化研究、アジア・アフリカ文学・文化研究、古典文学・文化研究、人間文化研究 等

(2)国際社会コース

世界諸地域の社会、ならびに国際社会に関する専門的教育研究を推進し、コーディネータ力、コンフリクトへの耐性を備えた人材を養成します。学べる分野は、次のとおりです。

開講される専門科目群：ヨーロッパ・アメリカ地域研究、アジア・アフリカ・オセアニア地域研究、現代世界論研究、国際関係研究 等

(3)Peace and Conflict Studies コース(10月入学)

紛争を抱えた地域の諸大学とのネットワークを活用した平和構築・紛争予防教育研究を推進し、国際社会で活躍し、平和構築に寄与する国際的リーダーを養成します。教育は全て英語で行われます。

開講される専門科目群：PCS Research Methodology、Foundation for Peacebuilding、Applied Peacebuilding、Conflict and Social Change、International Relations and Cooperation etc.

国際日本専攻

国際日本専攻では、世界の諸言語の中での日本語・日本語教育、世界の中の日本文化と日本社会を比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成します。

(1) 国際日本コース

本コースでは、世界の諸言語の中での日本語・日本語教育、世界の中の日本文化と日本社会を比較の視座をもって研究し、日本についての客観的な視座をもつ人材を養成します。本コースには、4つの柱があります。

- ・日本語学分野：専門科目「日本語学研究」、「対照日本語研究」を通じ、現代日本語、日本語史、方言、対照日本語研究などを学びます。
- ・日本語教育学分野：専門科目「日本語教育学研究」、「日本語教育実践研究」により、日本語教育の理論と実践を学びます。
- ・日本語文学・文化研究分野：専門科目「日本語文学・文化研究」、「日本比較文学・文化研究」を通じ、古典文学、現代文学、文化研究などを学びます。
- ・日本社会研究分野：専門科目「日本社会研究」、「国際文化交流研究」を通じ、日本の伝統社会、現代社会、日本の歴史などを学びます。

(2) 日本語教育リカレントコース(10月入学)

現職の日本語教育者を対象とした、1年で修了できるコースで、入学時期は10月です。

■専攻・コースを超えたキャリア・プログラム

大学院は専門的な研究の場であると同時に、修了後の皆さんを社会へとつないでいく場でもあります。専門分野での学術的な研鑽を活かすため、次のステップを意識した準備をすすめましょう。そのため、博士前期課程には、修了後のキャリア形成につながる複数のプログラムが用意されています。いずれの専攻・コースに属していても履修することができます。

- ・日本語教育実践プログラム
- ・多文化コーディネーター養成プログラム
- ・CEFRに準拠した新しい外国語教育プログラム
- ・世界史教育プログラム
- ・国際行政入門プログラム

2. 大学院総合国際学研究科博士前期課程【冬季募集】募集人員

専攻	入学定員	募集単位コース	冬季募集 (一般選抜)	冬季募集 (社会人特別入試)
世界言語社会専攻	102人	言語文化コース	若干名	若干名
		国際社会コース	若干名	若干名
		Peace and Conflict Studies コース	12名	---
国際日本専攻	46人	国際日本コース	若干名	若干名
		日本語教育リカレントコース	---	---

(注) 冬季募集の募集人員は、すでに募集した「秋季募集」「特別選抜(推薦)」を含めた入学定員の内数である。

3. 出願資格【冬季募集】

次の(1)から(8)のいずれかに該当する者。

なお、社会人特別入試に出願する場合は、出願時において3年以上の社会人としての経験を有し、かつ、2023年3月31日までに27歳に達する者でなければならない。また、以下の(1)から(7)では、見込みの者は含まれず、(1)から(5)では、学士又は学士に相当する学位を授与される見込みの者は含まれない。(「補足説明」を参照すること。)

- (1) 大学を卒業した者及び2023年3月31日までに卒業見込みの者(注1)
- (2) 学校教育法第104条の7の規定により学士の学位を授与された者及び2023年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者(注2)
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者(注3)
- (4) 外国の大学及び、その他の外国の学校において(注4)、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位又はそれに相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者(注3)
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者及び、2023年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 指定された専修学校の専門課程(文部科学大臣指定専修学校専門課程)を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(注5)
- (8) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2023年3月31日までに22歳に達するもの(注6)

【補 足 説 明】

- ・出願資格(1)～(5)に該当する者は、本学においては、学士の学位又はそれに相当する学位を授与された者及び2023年3月31日までに授与される見込みの者とする。
- ・出願資格(3)について、外国において学校教育における16年未満の課程(出願資格(4)の課程を除く)を修了した後、16年を満了する課程に進んだ場合、その課程を修了し、学士の学位又はそれに相当する学位が授与される、もしくは授与される見込みでなければならない。
例) 中国の大学の本科を卒業した者は、学士の学位も取得することが必要であり、取得していない場合は出願資格を満たさない。また、専科を卒業した者は、その後本科に編入するなどし、2023年3月31日までに本科を卒業し、学士の学位が授与される場合に、出願資格を満たす。
- ・出願資格(3)、(4)において、資格に到達する年数については、教育を受けた年数ではなく、初等・中等・高等教育の「各教育課程の修業年限」で判断する。
- ・出願資格(5)「文部科学大臣指定外国大学日本校」は、以下のURLを参照すること。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shitu/08052204/1417852.htm (文部科学省)
- ・出願資格(6)「文部科学大臣指定専修学校専門課程」は、以下のURLを参照すること。
http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111316/002.htm (文部科学省)
- ・出願資格(8)については「自身が大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す業績と、それを証明する書類や成果物」を提出すること。

- (注 1) 出願資格の(1)に定める「大学」とは、学校教育法に基づく日本の大学のことであり、外国の大学の出身者については、出願資格の(3)若しくは(4)に基づき、出願資格を判断することになる。
- (注 2) 短期大学又は高等専門学校の特攻科の修了者等で、大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構を含む)から学士の学位を授与された者、又は、学士の学位を同機構に申請中の者
- (注 3) 出願資格の(3)、(4)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該課程を修了した場合も含む。
- (注 4) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
- (注 5) 出願資格の(7)において「文部科学大臣の指定した者」に該当する者は、次に掲げる者等である。
- (ア) 旧大学令等による大学等を卒業(修了)した者及び各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び 2023 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (イ) 教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は 1 種免許状を有する者で、2023 年 3 月 31 日までに 22 歳に達したもの
- (ロ) 旧国立養護教諭養成所を卒業した者で、教育職員免許法による中学校教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は 1 種免許状を有するもの
- (ハ) 旧国立工業教員養成所を卒業した者で、教育職員免許法による高等学校教諭免許状及び 3 年以上教員として良好な成績で勤務した旨の実務証明責任者の証明を有するもの
- (注 6) 出願資格の(8)において、個別の出願資格審査の対象となる者は、上記(1)～(7)に該当しない者のうち主として「短期大学、高等専門学校、出願資格(6)以外の専修学校、各種学校の卒業生やその他の教育施設の修了者など大学院入学資格を有していない者」である。これにより出願する場合は、事前に出願資格審査が必要となるので、2022 年 11 月 25 日(金)までに次の書類を入試課窓口まで持参するか、(簡易)書留郵便で 4. 出願手続【郵送先】と同じ住所に郵送すること。

- (ア) 出願資格認定申請書(本学所定の用紙)
- (イ) 入学試験出願資格認定審査調書(本学所定の用紙)
- (ロ) 最終学歴の卒業証明書及び成績証明書(学校長又は学部長名で発行され、厳封されたもの)
- (ハ) 大学を卒業した者と同等以上の学力があることを示す書類(修士の学位取得証明書など)
- (ニ) レターパックライト(7 ページ「レターパックライト」項目の注記を参照のこと)
- (ホ) その他、本学大学院において必要と認める書類

出願資格審査結果については 2022 年 12 月 9 日(金)までに本人宛にレターパックライトで通知する。日本国外在住の者については、日本在住の代理人宛にレターパックライトで通知する。

各出願資格 対象者の例

出願資格	対象者の例
(1)	日本の教育制度で運営されている大学を卒業した(見込みの)者
(2)	大学改革支援・学位授与機構より、学士を取得した(する見込みの)者
(3)	大学(学部)までの修業年限が 16 年制となっている外国の教育制度で運営されている大学を卒業した(見込みの)者で、学士相当の学位を取得した(する見込みの)者
(4)	外国の教育制度で運営されている 3 年制大学を卒業することで、学士相当の学位を取得した(する見込みの)者
(5)	文部科学大臣指定外国大学日本校を卒業(見込み)の者で、学士に相当する学位を取得した(する見込み)の者
(6)	4 年制の日本の専門学校を卒業することで、高度専門士の称号を取得した(する見込み)の者
(7)	日本の旧法令等で運用されていた(されている)制度において、大学卒業と同等程度と認められた者
(8)	出願資格審査で出願を認められた者 (審査の対象：顕著な業績がある者や、学位を証明する書類等の中で、学士相当の学位であることが確認できない者。)

4. 出願手続

(1) 出願期間

2022年12月20日(火)～12月23日(金) まで(必着)

出願は郵送に限り、持参は認めない。

- ①日本国内から郵送する場合は(簡易)書留郵便、日本国外からの場合はEMS・DHL等の、本学までの配達状況が追跡できるものを利用し、出願期間内に本学へ到着するよう発送すること。
- ②封筒表面左下に「大学院博士前期課程(□□専攻△△コース)出願書類在中」と記入すること。
- ③提出期限を過ぎた場合は、一切受け付けないので、余裕をもって郵送すること。ただし、提出期間後に本学に到着した場合でも、2022年12月21日(水)以前の日本国内発信局消印のある(簡易)書留郵便に限り受け付ける。

【郵送先】

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学学務部 入試課入学試験係

(2) 出願時の注意事項

- ・提出物は、全て取りまとめて一括して提出すること。
- ・当募集要項の志願票で出願ができる専攻・コースと、日本語教育リカレントコース〈追加募集〉の併願は認めない。
- ・出願期間外の書類提出や差し替えは認めない。なお、受理後の志望コース等の変更は認めない。
- ・出願受理後は、いかなる理由があっても、出願書類及び納入した検定料は返却しない。
- ・過去に本学に提出したことがある書類であっても、改めて準備し、提出すること。なお、本学在学学生、研究生においても同様である。
- ・社会人特別入試の出願資格を有する者であっても、一般選抜に出願することは差し支えない。ただし、一般選抜と社会人特別入試の併願はできない。
- ・志願者が日本国外在住者の場合は、受験票返送や合格通知書の送付のため、日本国内在住の代理人が必要となる。

(3) 出願書類等

次の表記載のとおり準備すること。

なお、★が付いた書類は、本学ホームページより書式をダウンロードし、A4 サイズ(210mm×297mm)両面で印刷したものを使用すること。 ※あて名票のみ片面印刷でよい。

【各種証明書以外の提出物】

	書類名	詳細
□	★入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> 志望する専攻・コースを一つ選択すること。複数の専攻・コースを併願することはできない。 日本国外在住の志願者は、「連絡先」の欄に日本在住の代理人の連絡先・氏名を記入すること。 写真は、縦 4cm×横 3cm、上半身、正面、無帽、出願日前 3 ヶ月以内に撮影したものを貼付すること。また、裏面に志望するコース名と氏名を記入すること。 本人確認用を使用するので、写真は加工しないこと。 メールアドレスは、ドメイン「aq.com」「163.com」ではないものを記入すること。
□	★受験票・写真票	<ul style="list-style-type: none"> 志願票と同じ写真を貼付すること。また、写真裏面に志望コース名と氏名を記入すること。
□	研究計画書	<p>提出部数：1 部</p> <p>体裁：A4 サイズの用紙を使用すること。なお、志望専攻・コース名・研究テーマ及び氏名を記入した表紙を付けること。文字数は {世界言語社会専攻志願者：日本語で 2,000 字程度(英語の場合は、A4 用紙 2.5 枚程度)} {国際日本専攻志願者：日本語で 4,000 字程度(英語の場合は、A4 用紙 5 枚程度)} でまとめること。</p> <p>※ 提出に際してはクリップ止めでよい。(冊子体にはしないこと。)</p> <p>※ 表紙を含めてページ番号を振ること。</p> <p>内容：志望動機・研究テーマを簡潔に明示した上で、研究の対象、方法、準備・進捗状況、博士前期課程での研究展開の見通しなどについて、具体的に述べること。その際、先行研究・基本文献についても言及すること。なお、文中に日本語・英語以外の言語で書かれた文言を引用する場合は、和訳を付すこと。</p>
□	※社会人特別入試受験者は【志望動機理由書】	<p>【社会人特別入試受験者(志望動機理由書)】</p> <p>提出部数：1 部</p> <p>上記体裁の文字数を、両専攻とも日本語で 1,000 字程度(英語の場合は、A4 用紙 1 枚程度)に読み替えて作成すること。</p>
□	論文	<p>提出部数：1 部</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業論文、又はそれに準ずる参考論文(※注)。ただし、卒業論文と本学大学院での研究テーマが関連しない志願者は、新たに参考論文を執筆して提出すること。 志望専攻・コース名・論文タイトル及び氏名を記入した表紙を付けること。 日本語及び英語以外の外国語で論文を執筆した者は、A4 サイズの用紙を用いて日本語に翻訳したものを添付すること。 提出に際してはクリップ止めでよい。(冊子体にはしないこと。) 表紙を含めてページ番号を振ること。 提出後の差し替えは認めないので、よく確認の上、提出すること。 <p>(※注)「それに準ずる参考論文」について</p> <p>日本語で執筆する場合は、A4 用紙に 12,000 字(400 字詰め原稿用紙 30 枚)程度(若干の増を認める)で作成すること。また、外国語で執筆する場合は、A4 用紙で 15 枚程度とすること。</p>
□	※社会人特別入試受験者は【論文または小論文】	<p>【社会人特別入試受験者(論文または小論文)】</p> <p>提出部数：1 部</p> <p>論文の場合は、上記に準ずる。また、「それに準ずる参考論文」を提出する者は、文字数を A4 用紙に 4,000 字(400 字詰め原稿用紙 10 枚)程度(若干の増を認める)に読み替えて作成すること。また、外国語で執筆する場合は、A4 用紙で 5 枚程度とすること。</p>
□	★日本語教育調査票(任意)	※社会人特別入試：国際日本専攻国際日本コース志願者のみ任意提出
□	日本語教育能力検定試験の合格証明書等(任意)	※社会人特別入試：国際日本専攻国際日本コース志願者のみ任意提出 ※原本を提出すること。

<input type="checkbox"/>	本人確認書類 (必要な者のみ)	志願票と証明書等において、改名等のため氏名の記載が異なる場合は、同一人物であることがわかる書類を提出すること。※事前に入試課へ相談することが望ましい。 例) 結婚して氏名が変わった場合→旧氏名と現在氏名の記載がある住民票の写し(原本)
<input type="checkbox"/>	検定料 (30,000 円)	以下の①～②のいずれかの方法により振り込むこと。 ただし、2022 年 12 月 23 日時点で日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生である者は、 検定料が不要 なので振り込まないこと。 ① 〔コンビニエンスストアでの振込〕 別掲載「コンビニエンスストアでの入学検定料支払い方法」の説明を参照の上、振込手続を行うこと。 ② 〔クレジットカード決済〕 http://e-apply.jp/e/tufs-admission にアクセスし、「博士前期課程冬季募集」を選択し、必要な情報を入力すること。 ※①の場合は、振り込んだことがわかる証明書を入学志願票裏面の指定位置に貼付すること。また、②の場合は、e-apply の支払完了画面または支払完了メールを印刷したものを提出すること。 ※海外送金を希望する者は、入試課に連絡すること。 ※代理人が振込を行う場合は、必ず志願者の氏名で振り込むこと。
<input type="checkbox"/>	国費外国人留学生 証明書 (該当者のみ)	2022 年 12 月 23 日時点で日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生であることがわかる国費外国人留学生証明書原本を提出すること。 ※自身が所属している教育機関から発行されたものを提出すること。
<input type="checkbox"/>	★あて名票 (片面印刷)	合格通知書等本学からの通知を確実に受け取れる郵便番号・住所(日本国内に限る)・氏名を記入すること。※3つ全てに記入すること。 日本国外在住の志願者は、日本在住の代理人の住所・氏名を記入のうえ、志願者本人の氏名もかっこ書きで併記すること。
<input type="checkbox"/>	レターパックライト	本学から受験票を返送する際に使用する。半分に折り、他の出願書類とあわせて提出すること。 (注1) レターパックライトは、郵便窓口・コンビニエンスストアなどの郵便切手類販売所で購入可能。 (注2) 受験票を確実に受け取れる宛先(日本国内に限る)を、「お届け先」欄に記入すること。 なお、「ご依頼主様保管用シール」ははがさないこと。 (注3) 日本国外在住の志願者は、日本在住の代理人の情報を記入のうえ、志願者本人の氏名もかっこ書きで併記すること。なお、レターパックライトについてのみ、代理人が本学へ別送することを認める。その際は、志願者名を記載したメモを同封すること。

【各種証明書(志願者の学歴・学位・成績を証明する書類)】

<出願資格(1)(6)(7)により出願する者>

	書類名	詳細
<input type="checkbox"/>	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 高等教育/大学(学部レベル)1 年次から最新の成績が記載されていること。 編入学やダブルディグリー等で複数の高等教育機関に在籍していた、又はしている者は、正規生として在籍した高等教育機関全ての成績証明書を提出すること。
<input type="checkbox"/>	卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格の確認に使用するので、志願票の「出願資格」の記載と合致する高等教育機関(学部レベル)のものを提出すること。 ※卒業証書を提出する場合は、9 頁 3) のとおり、原本証明の申請を行うこと。

<出願資格(2)により出願する者>

	書類名	詳細
<input type="checkbox"/>	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 【学士の学位を授与された者】 学位の取得に際し取得した単位の成績証明書全てを提出すること。 【学士の学位を授与される見込みの者】 学位の取得に際し、現在取得している単位の成績証明書を提出すること。

□	学位授与(申請受理・申請予定)証明書	<p>【学士の学位を授与された者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学位記の写し又は学位授与証明書を提出すること。 <p>【学士の学位を授与される見込みの者(欄外注記を要確認)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の①②のうちいずれか一つを提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ① 大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与申請受理証明書 ② 短期大学長もしくは高等専門学校長の発行する学位授与申請予定証明書
<p>(注) 学士の学位を授与される見込みの者で、本研究科入学者選抜試験に合格した者が学位授与の申請を行わなかった場合、その他学士の学位を得られないこととなった場合は、その旨を本学入試課に連絡及び通知すること。なお、その場合は入学資格を喪失したことになるので、入学は認められない。</p>		

<中国の大学を卒業見込みの者>

	書類名	詳細
□	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学が発行したものを提出すること。 ・高等教育(本科レベル)1年次から最新の成績が記載されていること。 ・編入学やダブルディグリー等で複数の大学に在籍していた、又はしている者は、正規生として在籍した大学(専科も含む)全ての成績証明書を提出すること。
□	卒業見込証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格の確認に使用するので、志願票の「出願資格」の記載と合致する大学(本科)のものを提出すること。なお、出身大学より発行されたものに限る。

<中国大陸(香港、マカオ、台湾を除く)の大学を卒業した者>

	書類名	詳細
□	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学が発行したものを提出すること。 ・高等教育在籍時全ての成績が記載されていること。 ・編入学やダブルディグリー等で複数の大学に在籍していた、又はしている者は、正規生として在籍した大学(専科も含む)全ての成績証明書を提出すること。
□	教育部学历证书电子注册备案表(英語版)	<ul style="list-style-type: none"> ・中国高等教育学生信息网(CHSI(中国))のウェブサイト申請する場合は、英語版の教育部学历证书电子注册备案表(Online Verification Report of HEQC)のデータを取得し、印刷したものを提出すること。なお、中国学籍・学歴認証センター日本代理機構(CHSI(日本))が発行する英語版の学歴認証報告書の原本を代用することを認める。
□	学位取得証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学が発行した「学士」レベルのものを提出すること。 ※学位記を提出する場合は、9頁 3) のとおり、原本証明の申請を行うこと。
<p>(注 1) 申請・問い合わせ先は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国高等教育学生信息网(中国) http://www.chsi.com.cn/ ・中国学籍・学歴認証センター 日本代理機構(日本) http://www.chsi.jp/ <p>(注 2) 自学考試(本科)を修了し学位を取得した者の成績証明書および学位取得証明書については、自学考試を実施している機関発行の証明書原本を提出すること。なお、自学考試については、修了見込みでの出願は認めない。</p>		

<上記以外の者>

	書類名	詳細
<input type="checkbox"/>	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学が発行したものを提出すること。 高等教育/大学(学部レベル)1年次から最新の成績が記載されていること。 編入学やダブルディグリー等で複数の高等教育機関に在籍していた、又はしている者は、正規生として在籍した高等教育機関全ての成績証明書を提出すること。
<input type="checkbox"/>	卒業(見込)証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学が発行したものを提出すること。 ※卒業証書を提出する場合は、9頁3)のとおり、原本証明の申請を行うこと。 出願資格の確認に使用するので、志願票の「出願資格」の記載と合致する大学(学部レベル)のものを提出すること。 下記「学位取得証明書」欄を参照すること。
<input type="checkbox"/>	学位取得証明書	<ul style="list-style-type: none"> 既卒の者で、卒業証明書に取得した学位の記載がない場合のみ、提出すること。 出身大学が発行した「学士」レベルのものを提出すること。 ※学位記を提出する場合は、9頁3)のとおり、原本証明の申請を行うこと。
<input type="checkbox"/>	学士と同等の学位・称号であることの証明書	<ul style="list-style-type: none"> 卒業証明書もしくは学位取得証明書に、Bachelor、B.A.、B.S.等の、世界的に使用されている学士レベルの学位の記載がない場合のみ、提出すること。 出身大学または大使館において認証・作成された「日本の学士レベルの学位であることの証明書(原本)」を提出すること。

(注意事項)

- 1) 出身大学より発行された原本、又は出身大学や大使館・公証所等の公的機関で原本証明もしくは認証されたものを提出すること。
- 2) 各種証明書が日本語、英語以外の言語で作成されている場合は、日本語訳又は英語訳を添付すること。
- 3) 本学入試課において原本証明及び各種証明書の返却を希望する場合は、以下の手順で申請すること。

【申請方法】

本学入試課に連絡の上、卒業証書や証明書等の原本を窓口へ持参もしくは郵送すること。

郵送で手続きを行う場合、返信用封筒を下記の通り用意し同封して郵送すること。なお、郵送に伴う書類の紛失や、返送の遅延などに伴う損害について、本学は一切責任を負わない。

- ①原本証明する書類が入る大きさの返信用封筒を用意する。
- ②返信用封筒にその書類の重さに応じた簡易書留相当分の切手を貼る。
<https://www.post.japanpost.jp/send/fee/index.html> (郵便局 Web サイト「料金を計算する」)
- ③あて先(日本国内に限る)を記入する。

受付期間：2022年11月14日(月)～2022年12月23日(金)

受付時間：月～金曜日(祝日を除く)10時～12時及び13時～16時

※入試課により厳封を受けた原本証明書類を出願時に提出すること。(開封無効)

※出願期間に郵送で申請する場合は、出願書類等と併せて申請すること。その際、原本及び各種証明書の返却を希望する旨を記載したメモを同封すること。また、返却の際に原本を折り曲げてもよい場合は、提出書類のレターパックライトを使用して受験票とともに返却するので、その旨をメモに記載すれば、返信用封筒は不要である。

- (4) 日本国外から郵送し出願した者の受験票の取扱いについて

日本国外から出願した者についても、レターパックライトを使用し、受験番号を記入した受験票及び受験者心得を送付する。日本在住の代理人へ送付することになるので、早めに受け取るよう努めること。

5. 外国人留学生の受験者について

外国人留学生であっても、日本人受験者やその他の受験者と同じ出題内容・解答方法により選抜を行う。

6. 国費外国人留学生の検定料・入学料について

国費外国人留学生の検定料・入学料については、以下のとおり扱う。

【検定料(7 頁参照)】

出願最終日の時点で、国費外国人留学生である者の検定料は不徴収とする。

【入学料(12 頁参照)】

入学月の初日の時点において、国費外国人留学生であることが確実な者の入学料は不徴収とする。
なお、該当する者は、以下を必ず確認すること。

- 1) 該当するかは、提出書類である国費外国人留学生証明書の項目「支給期間」を確認すること。
- 2) 入学手続の際は、合格通知書に同封される入学手続書類に記載のとおり対応すること。

7. 社会人の授業及び研究指導について

本課程では、研究・教育水準の確保を図りつつ、社会人の大学院教育を積極的に進めるために、大学院設置基準第 14 条の特例を適用して、有職者(入学予定時において、2 年以上職を有する者)の便宜を図る次の方法がある。

- (1) 第 1 年次は、通常の形態による授業及び研究指導を受け、第 2 年次は職場に勤務しながら、研究指導を受けることができる。
- (2) 特例の適用を受けようとする者は、原則として、課程修了に必要な 30 単位のうち、第 2 年次で履修する専門特殊研究の 4 単位を除いた 26 単位を、第 1 年次の通常の授業時間帯における履修によって修得するものとする。
- (3) 第 2 年次は、この特例により特定の時間または時期において研究指導を受けることができるものとする。
- (4) 本特例の適用を希望する者は、「社会人の授業及び研究指導の特例申請書(大学院設置基準第 14 条の特例適用希望申請書)」(本学ウェブサイトより所定用紙をダウンロード)を出願時に提出すること。

8. 障害等のある志願者の事前相談

本学に入学を希望する者で、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする者は、事前に本学入試課に相談すること。

なお、相談の受付期日後に受験上及び修学上の特別な配慮が必要となったものは、電話等で相談すること。(目次下の「問い合わせ先」参照)

- (1) 受付期日 2022 年 11 月 25 日(金)まで
- (2) 相談方法 以下の必要事項を記入し(様式は任意)、添付書類とともに(簡易)書留により郵送または窓口へ持参すること。必要な場合は、本学において志願者または関係者等と面談を行う。

【記入事項】 ①志願者氏名、年齢、性別 ②連絡先(住所、電話番号、E-mail) ③出身大学、卒業(見込み)年月 ④志願専攻名、コース名、受験科目 ⑤障害等の種類、程度 ⑥受験上希望する措置 ⑦修学上希望する措置

【添付書類】 医師の診断書・障害者手帳(写) 等
レターパックライト(本学から通知を送付する際に使用する。7 頁「レターパックライト」項目の注記を参照。)

9. 個人情報の利用について

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号及び入学者選抜の成績等の個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京外国語大学個人情報保護規定」に基づいて、次のとおり取り扱う。

- (1) 出願時に提供された個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続業務に利用する。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、個人が特定されない形で、今後の大学教育及び入学者選

抜の改善のための検討資料として用いることがある。

- (3) 入学者の個人情報、教務関係（学籍簿の作成等）、学生支援関係、授業料徴収に関する業務に利用する。
- (4) 上記各種業務での個人情報の利用に当たって、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、一部の業務を外部の事業者（以下、「受託業者」）に委託することがある。その場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、本学が保有する志願者の個人情報の全部又は一部を提供することがある。

10. 入学者選抜方法

(1) 出願期間

2022年12月20日(火)～12月23日(金)

(2) 選抜期日

【世界言語社会専攻】

《筆答試験》 2023年2月4日(土)

《口述試験》 2023年2月4日(土)又は5日(日) ※5日(日)は予備日

【国際日本専攻】

第1次選考《書類審査》 筆答試験を行わず、書類審査を行う。

第2次選考《口述試験》 2023年2月4日(土)又は5日(日)

※5日(日)は予備日

(3) 合格者発表

【世界言語社会専攻】

《最終合格者発表》 2023年2月20日(月)

午前10時00分 本学ホームページ

【国際日本専攻】

《第1次選考合格者発表》 2023年1月16日(月)

午前10時00分 本学ホームページ

《最終合格者発表》 2023年2月20日(月)

午前10時00分 本学ホームページ

合格者には、合格通知書を「あて名票」を使用し、レターパックもしくは書留郵便にて郵送する。

※発表日から少なくとも5日間は、合格通知書を受け取れる状態にしておくこと。

また、ホームページにおいて合格者の受験番号を掲載する(詳細は受験票交付の際に配布する受験者心得にて通知する。)。ただし、必ず合格通知書により確認すること。

なお、合否結果に関する問い合わせには、一切応じない。

(4) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査(筆答試験・口述試験)及び成績証明書等を総合して行う。筆答試験において、研究計画書に則した適切な問題を選んだか否かも判断材料となる。研究計画書に則した問題がない場合は、受験者の得意な科目を選択すること。

【世界言語社会専攻における日本国外在住志願者の選抜方法について】

出願の時点で、日本国外に在住する志願者の選抜は、学力検査(オンライン(Zoom)を利用した筆答試験及び口述試験)及び成績証明書等を総合して行う。

※すでに来日している、又は来日予定であり、通常どおり受験できる者には、本学で実施する筆答試験及び口述試験を課す。

※志願票の作成に当たっては、別紙『「志願票」「あて名票」「受験票・写真票」作成上の注意』をよく確認すること。

※入学後の授業は、原則、対面で行う。海外からオンライン授業を受ける形態ではないので注意すること。

(4-1) 筆答試験

世界言語社会専攻

コース	試験科目	試験時間
言語文化 コース	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～ 11:00 (60分)
	英語、英語(英語教育学) ^{*1} 、英語(日英通訳・翻訳実践) ^{*2} 、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{*3}	
	^{*1} 研究テーマが「英語教育学」に関連する志願者は出願時に、「英語(英語教育学)」を選択すること。 ^{*2} 研究テーマが「日英通訳・翻訳実践」に関連する志願者は出願時に、「英語(日英通訳・翻訳実践)」を選択すること。 ^{*3} 「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	
国際社会 コース	以下の言語のうち、1つを選んで解答する。	10:00 ～ 11:00 (60分)
	英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語、日本語 ^{*1}	
	^{*1} 「日本語」は、日本語以外で中等教育を受けた者に限って受験できる。	

国際日本専攻

コース	試験科目	試験時間
国際日本 コース	筆答試験は実施しない(書類審査のみ)。	---

(4-2) 口述試験

筆答試験を受験した者及び国際日本専攻第1次選考合格者に対し、口述試験を行う。試験時刻等の詳細は、筆答試験当日に指示する。筆答試験を受験しなかった者は受験を放棄したものと見なす。

なお、国際日本専攻第1次選考合格者に対する第2次選考(口述試験)は、Zoomを利用してオンラインで実施する。試験時刻等の詳細は、合格者発表と同時に通知する。

11. 入学手続等

(1) 入学手続期間 2023年3月24日(金)まで

この期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱う。

(2) 入学料の納付額 282,000円

2023年4月1日以降に日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生である者は、入学料の納付は不要である。

但し、出願時は日本政府〔文部科学省〕国費外国人留学生であったが、2023年4月1日以降の延長が認められなかった者は、入学料の納付が必要となるので注意すること。

なお、入学手続を完了した者については、振り込まれた入学料は原則返金しない。特に卒業見込の者で当試験に合格した場合は、卒業に係る条件やスケジュールの確認と対応をしっかりと行い、2023年3月31日までに卒業できるよう努めること。

(3) その他

- ・入学手続に必要な提出書類及び提出方法については、合格者にあらためて通知する。
- ・卒業見込みで受験し合格した者が、在籍する大学を卒業できなかった場合、入学手続を完了していたとしても、大学院への入学は認められないため、注意すること。
- ・授業料は、前半期分267,900円を5月中に、後半期分267,900円を10月中に徴収する。
- ・入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料を適用する。

- 入学時には、上記授業料のほか、学生教育研究災害傷害保険料等の諸経費が必要となる。
- 官公庁・会社・学校等に在職のまま入学する者は、所属長の発行する入学承諾書(様式任意)を入学手続き時に提出すること。
- 日本国外在住の合格者のうち、「留学」の査証(ビザ)を取得する者は、早めに留学生課留学生教育係まで問い合わせること。(Tel: 042-330-5184 E-mail: ryugakusei-kyouiku@tufs.ac.jp)

12. 注意事項

- (1) 提出書類に偽りの記載又は隠した事実があったときは、入学後といえども入学を取り消すことがある。
- (2) 入学手続きを完了した者が入学を辞退する場合は、2023年3月31日(金)までに、入学辞退届(本学所定様式)を本学入試課に提出しなければならない。入学辞退届を提出しない場合には、4月以降学籍が作成され、授業料納付の義務が発生するなどの問題が生じるので早めに届け出ること。
※入学辞退届については、早めに入試課へ連絡し、入手すること。
- (3) 検定料を入金したが出願をしなかった者は、すぐに入試課へ連絡すること。その際、収納を証明する書類(原本)をなくさないよう注意すること。
※申請が遅い場合や、収納を証明する書類の原本を紛失した場合、返金処理ができない場合がある。

冬季募集(Peace and Conflict Studies コース)

本コースの募集に関する詳細は、本学ホームページ上で確認すること。

URL: http://www.tufs.ac.jp/english/admission/degree/pg/master/m_pcs.html

1. 募集人員 12名
2. 出願資格 詳細は、本学ホームページ(URLは上記のとおり)を参照。
3. 入学時期 2023年10月
4. 出願手続
 - (1) 出願期間 2023年1月4日(水)～2023年5月2日(火)
 - (2) 出願方法 郵送
 - (3) 提出先 〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1 東京外国語大学入試課
5. 選考方法及び選考結果
 - (1) 選考は、書類審査及び面接の内容を総合して行う。
面接日は、出願後、日程調整の上個別に設定し実施する。
 - (2) 合格者発表 2023年6月下旬
選考結果は、ホームページに掲載する(志願者全員に、電子メールでホームページへのアクセスキーを通知する)。
6. 入学手続等
入学手続日程については、合格者の渡日日程に配慮し、弾力的に設定する。